

平成 17 年 3 月 4 日

<ご案内> ～新東京タワーの災害対策利用～

平素より、区政並びに区広報活動に、多大なるご理解・ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

豊島区では、官民が一体となり豊島区への新東京タワーの誘致実現をめざし誘致活動を進めるなかで、新東京タワーの災害対策利用に関する検討を行ってきました。このたび、「新東京タワー災害対策活用研究会」により、災害対策利用の有効性、大地震発生時に新タワーが欠かせないこと、および災害リスクの少ない豊島区への誘致の優位性についての結果がまとまり、報告書が作成されます。

つきましては、記者の皆様にご報告書の内容をご説明いたしますので、お忙しい中恐れ入りますが、お越しいただけますようよろしくお願い申し上げます。

政策経営部広報課長 岡本 晃治

記

1. 日 時 平成 17 年 3 月 7 日（月）午後 4 時から
2. 会 場 豊島区役所本庁舎 4 階 第二委員会室
3. 出席者 高野之夫豊島区長
中林一樹東京都立大学教授（新東京タワー災害対策活用研究会座長）ほか

●中林一樹（なかばやしいつき）氏（東京都立大学教授 都市科学研究科長）
安全をキーに、平時の都市づくり、防災から復興までの都市防災の計画論的研究に従事。文部科学省科学技術庁地震調査研究推進本部政策委員会のほか、東京都防災会議地震部会専門委員や各地の都市計画審議会会長等に就任。

* 参考

【新東京タワー災害対策活用研究会】

研究会メンバー：日本電気、NECシステム建設、日立製作所、新日鐵、東京電力、日本設計、三菱地所、SECOM、NTT DoCoMo、トヨタ自動車、東京ガス
事務局：三菱総合研究所

問い合わせ 広報課広報係